
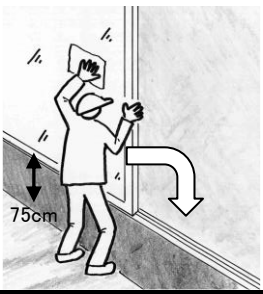
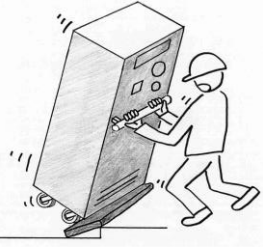

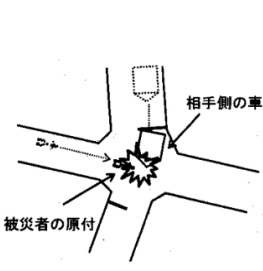


令和元年の死亡災害発生状況(確定版)

<事故の型>

事故の型： 墜落・転落 1人 (10%) 転倒 1人 (10%) 崩壊、倒壊 1人 (10%) 激突され 3人 (30%) 交通事故(道路) 4人 (40%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
1	1月	小売業	男性	管理者	70代	<p>冬季の早朝のガソリンスタンドにおいて、被災者が開店準備のために事業場内を歩行していたところ、転倒した。その後、被災者は自力で事務所に戻ったものの死亡した。監視カメラの映像等から、照明がなく、凍結していた可能性のあるコンクリート上を通行して転倒したと思われる。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 早朝や夜間に通行したり、作業を行う可能性のある場所については、常夜灯や人感センサーによる自動照明設備を設置し、必要な照度を確保すること。また、路面凍結等が予想される場合には、安全な通路を確保するとともに、滑り止め機能を有する靴を着用させる等の対策を講じること。</p>		転倒	通路
2	2月	繊維工業	男性	作業員	50代	<p>工場2階で清掃を行っていた労働者が、換気のために開けていた窓から外側に墜落した。窓枠は床から75cmの高さで、被災者の股下程度の高さであった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 建物の外部に面する窓については、窓枠の高さを85cm以上とすること。また、窓枠の高さの確保が困難な場合は、手すりを設置する等の対策を講じること。</p>		墜落・転落	建築物、構築物
3	3月	金属製品製造業	男性	作業員	50代	<p>キャスター付きの機械設備(重量200kg)のハンドルを引っ張り、倉庫へと移動させようとしたところ、倉庫入口の段差(高さ5cm)を超える際に機械が倒れ、被災者が下敷きとなった。なお、段差には、スロープの代わりとしてベニヤ板が敷かれていたが、機械の重心位置が高く、うまく乗り越えられなかった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 機械設備の移動作業を行う際は、事前に機械の形状や重心、移動経路の状況等を把握し、適切な作業方法を検討し実施すること。また、重量物の取扱い作業は、複数人で行うようにすること。</p>		崩壊、倒壊	機械装置
4	4月	林業	男性	作業員	20代	<p>チェーンソーを用いた伐木作業中、伐倒木が別の木のかかり木になったため、チェーンソーを用いてかかっている木の元玉切りを行ったところ、突然かかり木が外れ、山側に跳ねて被災者に激突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 かかり木を処理する際は、かかっている木の元玉切りを行わず、速やかに立入禁止区域・退避場所を定めた後、フェリングレバー等の適切な器具により、かかり木外しの作業を行うこと。</p>		激突され	立木等
5	4月	その他の小売業	男性	配達員	30代	<p>客先へ商品(飲食物)を配達した後、優先道路を原動機付き自転車で走行していたところ、優先ではない道路から交差点に進入してきた自動車と出会い頭に衝突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例 ・見通しの悪い交差点に進入する際は、十分に減速する若しくは一旦停止して、左右の確認を行うこと。 ・交通労働災害防止に係る安全教育を実施すること。</p>		交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク

令和元年の死亡災害発生状況(確定版)

<事故の型>

事故の型: 墜落・転落 1人 (10%) 転倒 1人 (10%) 崩壊、倒壊 1人 (10%) 激突され 3人 (30%) 交通事故(道路) 4人 (40%)

番号	発生日	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図	事故の型	起因物
6	5月	新聞販売業	女性	配達員	60代	<p>新聞配達のために、原動機付き自転車で住宅街の見通しが悪く信号のない同幅員の道路の交差点を通過する際、左方から走行してきたトラックと出会い頭に衝突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路へ出る場合は、一旦停止して左右の確認を十分に行った上で進行すること。 ・交通労働災害防止に係る安全教育を実施する。 		交通事故(道路)	乗用車・バス・バイク
7	7月	一般貨物自動車運送業	男性	運転手	50代	<p>鉄屑を処理する事業場において、被災者がトラックの荷台上でゴミ掃除を行っていたところ、リフティングマグネットを装着した移動式クレーンに激突されたもの。クレーン運転手は、荷台に鉄屑を残さないように内部をリフティングマグネットでかき混ぜていたが、運転席からは荷台の内部の様子が見えない状態であった。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同作業における作業標準を定め、関係者に周知すること。 ・作業場所が確認しにくい場合には、監視人の配置やモニターの設置等の安全対策を検討し実施すること。 		激突され	移動式クレーン
8	8月	警備業	男性	交通誘導員	60代	<p>護岸工事現場から県道へ出るダンプトラックを誘導するため、県道上で、北進する一般車両に停止の合図を行っていたところ、当該一般車両にはねられたもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般車両が通行する道路上の警備にあたっては、一般車両の走行状況を考慮の上、交通警備を行う場所及び安全な避難場所をあらかじめ決めておくこと。 ・警備員への安全教育を実施すること。 		交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク
9	10月	一般貨物自動車運送業	男性	運転手	40代	<p>高速道路上の追い越し車線に止まっていた大型トラックに、被災者が運転する中型トラックが追突したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通労働災害防止に係る安全教育を実施すること。 		交通事故(道路)	トラック
10	11月	その他の建設業	男性	作業員	70代	<p>民家の敷地内で立木の伐倒作業を行っていたところ、伐倒方向の先から歩行してきた被災者の頭部に伐倒木が激突した。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立木の樹高の2倍に相当する距離を半径とする円の内側に、当該立木の伐倒作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせないこと。 		激突され	立木等